

## 4月のHUGだより

情報提供者：やましろ小児科 山城武夫

4月のテーマ：乳幼児の発達（母子手帳の活用）

『HUGだより』も2019年4月に始まり、6年目の春を迎えます。0歳児から2歳児までお預かりしているどんどこ保育園（HUG併設）の年齢を中心に乳児の発達・発育についてお話致します。



乳児の発達・発育・子育ての手引き本は沢山あります。私は、お子さまを初めて抱きしめ、顔を見つめた時からわが子の発達・発育の実際を学び始めるものと思っています。その参考書と記録は市町が発行している「母子健康手帳」、「その副読本」が一番と考えています。日頃、健診に携わっていて、その利用度をもっと上げて頂きたいと思っています。

新生児期：消化器の機能はお乳を吸う力、うんちの回数、性状（かたち、臭い、硬さなど）、嘔吐の有無などの観察で分かります。聴力（新生児聴覚検査はお済でしょうか）、視力も保育者の気付きで発達が分かります。体重増加は保健師さんの新生児訪問、1ヵ月健診で判断しても良いでしょう。



1～4ヵ月：首のすわり、手足の動き、声掛けでの笑い顔の方向性で聴力・視力の発達は観察されるでしょう。「母子手帳の保護者の記録」、「乳幼児身体発育曲線」にチェックを入れましょう。感染症の予防接種も始まります。1ヵ月健診でスケジュールを立てましょう。

5～9ヵ月：消化機能の発達により離乳食を摂取できる時期になります。より便性の観察が必要です。全身の運動機能の発達として寝返り、一人座り、這い這い、つかまり立ち、指先の動きとして、ものに手を伸ばし、手で物を（積み木など）を持つ、意味のないバババ、ダダなどを発します。欲しいものを要求するところとからだの発達が見られます。



10～12 ヶ月：歯が生えてくると、咀嚼機能、消化機能が発達します。全身運動発達としては、一人で立ち、歩き始める時期です。指の発達は、哺乳瓶を持ったり、な



ぐり書きをしたり、小さなものを指先でつまんだりするでしょう。おいで、ちょうだい、バイバイなど言葉の理解が進み、家族とのかわり、社会性が出来てきます。母子手帳に1歳までの保護者の記録を、身体発育曲線に

はデータを記入し、予防接種もチェックしましょう。

1～1歳半：一人歩き、段のあるところのよじ登り、手先、指を器用に使います。言葉の発達は個人差がありますが、意味のある簡単な単語が出始めます。簡単な指示が実行できます。社会性がぐんぐん発達します。市町の1歳半健診は必ず受けましょう。

その際には母子手帳の保護者の記録を整理しチェックしておきましょう。



1歳半～2・3歳：2歳前後にはしっかり歩くことが出来、走ったり、跳んだり、階段上りも始まります。言葉の発達は二語文が始まり、理解力も発達し、自立心が強くなります。絵本を繰り返し読んであげてください。おしゃべりをして会話を楽しんでください。五感の発達が言葉で理解しているか分かります。3歳児健診（市町での3歳半健診）は必ず受けましょう。

以上、母子手帳、その副読本を活用し、簡単なチェックで、お子さんの発達・発育をお誕生日毎に確かめて下さい。その後、身体の発達、こころの発達は5歳児健診、就学前健診で市町でのチェックが計画されています。

